

Vol.218 CONTENTS BRIEFING

～今号記事の概要説明～

2021年度「事業計画書」 P3

3月25日開催の「2020年度第4回理事会」において正式承認された、新年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の事業計画書を掲載しました。従来から重点テーマに掲げている「持続可能な物流の構築」「サプライチェーン全体を繋ぐデータ基盤の構築」に加え、新たに「環境問題に対する食品卸売業としてのコミット」を掲げ、また本年の特有のテーマとして「インボイス制度導入に向けての対応」をテーマアップしております。これらの基本方針に基づき、各委員会、研究会、WGで具体的な活動を推進してまいります。

協会のHPが新しくなりました。 P6

協会HPには、業界として共有すべき情報の掲載を始め、過去に取りまとめた各種帳票・フォーマット類、会報のバックナンバー等、様々なコンテンツを掲載しております。また最近「N-Torus」に関する情報等、掲載内容が多岐に亘りボリュームも増えてきたことから、更なる見やすさと使い勝手の良さを実現すべく、HPの改修を行いました。その改修ポイントを説明しておりますので、実際に見て使ってください、また様々なご意見をいただきたいと思っております。

「N-Torus」運営状況 P9

「N-Torus」は本年3月で稼働開始丸2年が経過し、稼働拠点は77拠点（予定拠点を含む）となりました。2021年度からは「N-Torus会員制度」という協会会員以外の皆さまにも活用いただく制度を新設し、稼働拠点の更なる拡大を進めます。今号では最新の概要・機能案内と勧誘用パンフレットを掲載しましたので、改めてご覧をいただきたいと思います。またこれらの資料もHPに掲載しておりますので、ご活用ください。

「インボイス制度対応専門部会」活動報告 P20

「インボイス制度対応専門部会」は当初の目標であった本年3月までの「手引き書」完成を目指して、これまでに11回の部会と省庁とのミーティングを行ってきました。部会メンバーの皆さんの大変な努力もあって、3月中には初版のドラフト版を纏めることが出来、現在各方面で最終の検証を行っております。公開は5月を予定していますが、今号ではこれまでの検討の経緯と対応指針のポイント、今後の活動予定を掲載しておりますので、ご確認ください。

「2020年代の総合物流施策大綱」提言 ……………P28

「総合物流施策大綱」は我が国の物流政策の基本的方向性を示すもので、数年に一度閣議決定され公表されております。この程、新たな2021年度からの大綱について有識者にて検討され、その提言が公表されました。この中で言われている「簡素で滑らかな物流」「担い手にやさしい物流」「強くてしなやかな物流」という表現はこれからのキーワードになっていくと考えられます。今号ではその提言書の目次と概要図を掲載しました。全体は国土交通省のHPで公開されておりますので、そちらをご覧ください。

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「スマート物流サービス」 ……P33

「SIP」については会報217号において、坂本浩之氏のレポートを掲載しましたが、その後の進捗について「デジタルロジスティクス推進協議会」の中で、経済産業省の柴田和浩氏より報告がありましたので、ご了解のもと今号に掲載させていただきました。今日までに至る研究開発の状況が説明されておりますので、ご確認ください。このSIPは2021年度また新たなフェーズに入り、実装に向けた進捗が予定されており、その動向を注視したいと考えております。

「加工食品物流懇談会 飲料・酒物流分科会」……………P46

国土交通省が主管するこの懇談会では、昨年5月に「荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン 加工食品物流編」が纏められ発表されました（会報215号に掲載）。そのガイドラインを飲料・酒物流の要素を加えた形で更にブラッシュアップすることとなり、その内容を検討した懇談会のレポートを掲載しました。

関係省庁・団体からのお知らせ ……………P71

今号では、内閣官房IT総合戦略室の加藤博之氏よりご寄稿いただいた「電子インボイスの仕様の標準化」に関するレポートを掲載しました。現在、会計ソフトベンダを中心に構成させている「電子インボイス推進協議会」でその検討がなされていますが、その取組について紹介されております。

会報に関するご意見、ご指摘がございましたら、協会事務局までお寄せください。
(nsk-nhk@nifty.com) 皆さまの声を会報編集の参考にさせていただきます。